

小中一貫校説明会

小中一貫校開設に向けた説明会が7月4日(土)に加茂中体館で開催されました。

会場に用意された200席を超える席は、町会関係者をはじめ、多くの保護者でほとんど埋まる程となり、関心の高さを伺わせました。

行政からは教育総務部長と学校教育部長をはじめ20名ほどが説明にあたり、3月に行われた地元説明会で寄せられた意見要望をもとに、行政側で練り上げた小中一貫校の教育方針と施設整備の内容が披露されました。(施設整備の内容は別表を参照)

開校については当初、平成24年4月とされていましたが、設計や工事の関係で1年遅れる可能性があると、これからの進捗を注視したいと述べました。



会場は満席。具体的な内容に皆の関心も高い

区路線バスの運行が関係しますので、教育委員会の判断では決められない事項になっています。

公共交通機関である鉄道と路線バスを生かしながら子供たちの通学に利便性を持たせる作業は知恵と工夫が必要となります。こちらの進行具合も随時取材していきたいと思っています。(大貫里山通信員)

先日、養老地区の小山の中腹にあった古い社をみながら取り壊しました。広さ五、六坪程度の小さいものでしたが、岩山を削って平地を造りそこに建てたものでした。割と平らに削りたものでしたが周りの木々や竹等が繁り、茂り、風も通らず蒸気化にやられて一部の屋根が落ちてしまっている状態にあり、取り壊すことになったのです。しかし取り壊した材を見てもそれほど古いものではなく、蒸気化にやられなければそのままだけに残されたであろうと思われ、下草刈りをして竹を切って風を通し、覆い被さる木の枝を落として多少でも覆いの光が入るように手入れを続けていければ、まだまだ十分に機能したであろうと思われ、一、二年前の世代までそこに集い、みんなで酒を酌み交わし、賑やかに過ごしたであろう事を物語っていました。社の方にさくさく倒れかけた木を取り除き、周りに生い茂る竹を切り払って、中腹から見下ろすことができるように、上り口あたりには枝の古株があるので満開の桜を見下ろす事もあったでしょう。

低学年用教室の増築	小学1学年から4学年用の平屋棟を新設。
教室や廊下の改修	床の張替、壁や天井の改修、新しいロッカーや黒板の設置。
階段の改修	3か所の階段を小学校基準へ改修。
トイレ	洋式トイレを加え、手洗い、便器、床、壁等を全て新しく。
昇降口の改修	床や壁を改修し新しい下駄箱を設置。バリアフリー化。
ランチルームの新設	異学年が交流しながら給食できるランチルーム新設。
ふれあいルームの新設	2教室分の広さの多目的教室。異学年の学習活動場所。
小学生用図書室を設置	4小学校の蔵書を集めた小学生用図書室。
保健室拡張	現保健室の拡張。
外壁の再塗装	きれいな外観に再塗装。
グラウンドの全面改修	グラウンドを改修して排水を改良。
体育館の床改修	床の改修。ミニバス用リングや小学生用遊具の取り付け。
プールの一部改修	再塗装。小学生用にコースを一部改修。

【別表】施設整備の内容(案)

8月9日の土・祝日、9時~15時30分まで。参加は無料。ただ、収穫量によって料金がかかります。とつもも1本100円、枝豆は50cmの細で縛れる分だけ800円です。でも何よりも「新鮮さ」が魅力です。是非気軽にご参加下さい。受付は里見駅96-0044(開催のみ)。

里見駅を訪れると「喜動房俱樂部」の名前の通り、メンバーの皆さんがそれぞれその担当を「喜びを持って快活、精力的に動いている」のがよくわかります。その雰囲気は土・日に里見駅に集つた皆さんも自然に引き寄せられる様です。(佐久間里山通信員)



畑の草取りに精を出すメンバー

房総・養老深谷の地酒お土産は養老深谷駅前 **角屋商店** 養老深谷観光協会窓口

市原市朝生原181
TEL 0436-96-1108
FAX 0436-96-0052

その家はフィンランドの幸福論から。

HONKA Honka 房総 太陽工業株式会社
市原市馬立414-1 Tel 0436-95-5641
www.honka-bouso.com

愛車のある幸せ暮らしを応援します！
安全・安心
有限会社 **小茶自動車** 全日本ロータスクラブ加盟店

市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

四季を感じる安らぎ空間 **ユートピア笠森**

宿舎 宴会 グランドゴルフ・テニスとゆつたりとやすらぎのときをお祝いご法事等の各プランも承っております
(15名様以上無料送迎いたします)

日帰り入浴もご利用出来ます
〒297-0154 千葉県長生郡長南町岩撫5番地
ご予約・お問合せ TEL 0475-46-2381 FAX 0475-46-2250
ホームページ http://www.utopia-kasamori.com

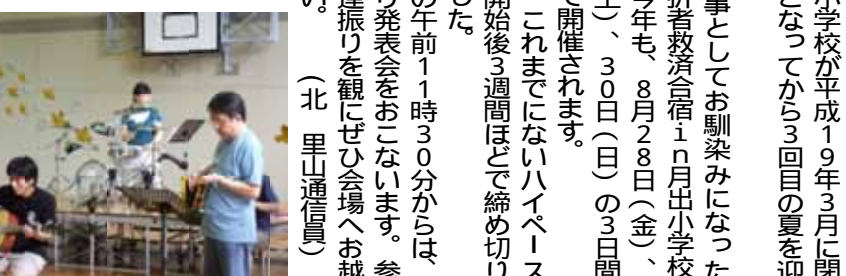
楽器挫折者救済合宿in月出小学校'09

旧月出小学校が平成19年3月に閉校式をおこなってから3回目の夏を迎えます。

夏の行事としてお馴染みになった「楽器挫折者救済合宿in月出小学校'09」が今年も、8月28日(金)、29日(土)、30日(日)の3日間に行われ開催されます。

今年は、これまでないハイペースで募集開始後3週間ほどで締め切りとなりました。

30日の午前11時30分からはいつも通り発表会をおこないます。参加者の上達振りを観にぜひ会場へお越しください。(北里山通信員)



この家(このことを考える約束事をきちんとしてほしいと要望するのは当然のこと)と思えます。(征矢里山通信員)

宮を壊す

田であったところが竹林になっているというのもあちこちに見かけられます。

山の手入れをする人間がどんどん減り、昔みんが入れた山が次第に入りつらくなり、ついには入れなくなる。昔子供たちは山で遊んでいたのに、時代も変わり子供の数も減り山で遊ぶ子供もいなくなる。かくて、民家に接する生活の森が人の出入りのある里山の森ではなく、人を拒むたの森になってしまふ。そういう森が確実に増えていき、昔あった森での生活は消えていく。

時代の流れと言えはそれまでですが、生活が一つ消えれば文化も一つ消えていき、どこかに何らかの形で記録を残さない限り、いずれ地域の人々の記憶からも消えてしまふでしょう。語り伝えていくこと、記録していくことは文化を伝えていくことで、里山通信でも少しずつ載せていければと思います。

里山からの発信

毎夏夏の終わりに頃には月出小で活躍している楽器挫折者救済合宿に、実は昨年「毎日かあさん」こと西原理恵子さんが仲間編者たちと参加してました。この突撃体験記は後に「できるかな」シリーズのひとつとして週刊誌にルポとして掲載されました。それはいつものように過激な感想を述べたのではなく、それなりに感銘を受けた文字で「毎日かあさん」に限らず、彼女の描くものはほとんど自分が体験したものをそのまま描いているとそれまで思っていました。しかし、身近に接し話したり、発表会で結構緊張していたりした様子を見たり、その時と作品に仕上がったものと比べてみるに、読者を喜ばせるための誇張や工夫がされていることがわかりました。プロの作家としていかにしたら読者を笑わせるか、いかにしたら読者を喜ばせることができるか、そんなことをいつも考えているんだろっと思えます。漫画に登場するイメージとは少し違い、他人に対する細やかな気遣いをする繊細な人なんだと感じました。この彼女の書いた最近の作品「この世でいちばん大事な「カネ」の話」は大変な傑作で一種の

喜動房俱樂部

本郷地区の有志の皆さん11名で活動されている喜動房俱樂部(松本正雄代表)は、毎月第1と第3の土・日曜日に里見駅で軽食、飲物の純喫茶や野菜の直売などを行っています。お勤めは何と云っても地元元祖の「祭り寿司」、これを求めにわざわざ足を運ぶ観光客も大勢います。あつあつの焼き芋も地元の子供達に大人気です。

その他のイベントも活発に行われています。夏のいち押しは「枝豆・とつもも」収穫祭です。里見駅から高滝方面に1.0分程歩いた緑路脇の畑(線路内は絶対に歩かないで下さい)で体験できます。日程は7月18日、8月9日の土・祝日、9時~15時30分まで。参加は無料。ただ、収穫量によって料金がかかります。とつもも1本100円、枝豆は50cmの細で縛れる分だけ800円です。でも何よりも「新鮮さ」が魅力です。是非気軽にご参加下さい。受付は里見駅96-0044(開催のみ)。

里見駅を訪れると「喜動房俱樂部」の名前の通り、メンバーの皆さんがそれぞれその担当を「喜びを持って快活、精力的に動いている」のがよくわかります。その雰囲気は土・日に里見駅に集つた皆さんも自然に引き寄せられる様です。(佐久間里山通信員)

里山の医療から六

地域医療や産科 救急などを中心に深刻化する医師不足に対処するために都道府県は前年度の倍以上の医師確保事業費を盛り込んだことが報道されました。住民の命に関わる医師不足解消に向けて各自治体が専従の部署や職員を配置し、あの手この手で医師獲得に奔走しています。

しかし、医師の偏在もあるものの絶対数が不足している中では、限られたバイの奪い合いと、限界を指摘する声もあります。今のこのような事態になるまであることは、すでに何年も前から自治体関係者には見えていたのではないかと考えます。今になって確保のために予算を倍額



にするのではなく、そのお金を長期の医師の育成に使うような先を読んだ使い方向けに「らもつ」と有効だったのでは思います。

鶴舞活性化ネットワーク病院部の部長の濱屋さんからいろいろというるような資料を提供していただいているのですが、先にいただいたものの中に興味を惹かれるものがありました。それは千葉県知事に提出したお願いの中の要望事項に盛り込まれた鶴舞病院の歴史的な背景です。

昭和二十七年、千葉県は鶴舞町に結核病院の開設を計画したものの住民の反対を受け地域医療を併せ持つ鶴舞病院として再提案をし、住民の了解を得たこと、鶴舞住民は病院建設に際し全面的に協力し、用地である山林の伐採、整地などを勤勞奉仕として行ったこと、平成六年、循環器病センター開設については、高度医療の開院と地域医療の充実を目的に協定が結ばれ、市原市はこのために千葉県に対して「二四ヘクタール」の土地を病院用地として無償提供していること、平成一〇年、循環器病センターは「循環器疾患におけるセンター病院としての機能と、地域の中枢病院としての機能を併せ持つ施設」として、千葉県病院局中期経営計画に定められていること。

これら二つのことを考えると約束事をきちんとしてほしいと要望するのは当然のことと思えます。(征矢里山通信員)

全国屈指のガンマナイフやヘリポートがある千葉県循環器病センター